

# 事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0106103 - 11000

京都府南丹市  
作成日: 平成21年05月12日

事業名	特別栽培認証制度推進事業	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体	美山支所 産業建設課 担当: 中野
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	政策体系CD: 232	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
		関連法令・条例等	食料・農業・農村基本法、有機の農業に関する法律	

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
消費者のニーズに合わせた減農薬・有機野菜づくりのための独自基準によるブランド化によって、特色のある産地の形成を行う。
- ②事業を実施する必要性  
独自の栽培基準により、消費者に安心感と信頼感のある農産物として確立し、野菜のブランド産地として農家所得の向上を図る。

## 【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	3,468	3,148	2,790	2,790	2,790
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,468	3,148	2,790	2,790
職員等従事人員	人/年	—	—	0.30		
人件費	千円	—	—	1,739		
事業費総額	千円	—	—	4,529		

## 【主な支出の内訳】

特別栽培認証制度推進業務委託料 2,790千円  
委託料内訳  
人件費 2,640千円  
ホームページレンタルサーバー 37千円  
フレッシュ袋作成 113千円

## 【近隣市町村の取り組み状況】

近隣市町村で同様の取り組みをしている地域無し

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

生産者の高齢化に伴い、新たな担い手の確保が必要となっているが、生産者を増やすために、認証基準を過度に下げると消費者への安心感と信頼感が薄らぐ。20年度については認証基準について町内の代表的な生産者と検討した。今後も継続して生産者も参加しやすい、一般消費者も理解しやすい基準について検討を続ける。

## 【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
農薬・減化学肥料野菜及び有機野菜の推進は、地域ブランド確立の上でも重要であり、生産者の会員拡大と販路確保などについて議論を重ねた。
- ②当該事業のアピール事項  
「美山有機農業推進協議会」が平成20年度に国のモデルタウンとして採択を受けた。有機野菜・有機米のブランド化を図り全市に拡大していきたい。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
生産者・消費者が共に納得できる認証基準を確立し全市に普及していく。

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	232	事業名	特別栽培認証制度推進事業		
事業CD.	106103-11000	細事業名			
所管部局	美山支所	所管課	美山産業建設課	担当	中野 修

106103-11000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
認証 業務	●認証制度説明会 美山町内の全農家を対象に、認証制度説明会参加を呼びかけ町内4会場にて、制度の概要を説明。	平成21年5月15日	認証制度説明会参加通知 208名 説明会参加者 38名
	●認証制度生産者から提出された栽培計画書の確認 生産者から提出される栽培計画書の施薬・施肥が特別栽培認証制度の定める基準に適合しているかを確認し、不適合の場合は変更を指示する。	5月～6月	栽培計画書提出者数 26名
	●認証制度の基準についての検討会議 生産者が参加しやすく、消費者が理解しやすい認証基準について代表的な生産者や、販売店と検討。	4月23日 5月23日 7月22日 8月21日	
付 加 価 値	●共同堆肥づくり実施 共同堆肥づくり部会を結成し、会員自らが安心・安全な良質堆肥をつくり、施肥することで認証野菜に付加価値をつけ販売し生産者の所得の向上を目指す	9月30日～4月17日	製造数量 100m3 配達 7件 引取 16件
宣 伝 ・ 啓 発 ・ 販 売	●NPO伏見サポートの野菜ボックス対応(発注・集荷・納品・配達・事務作業)	4月～翌3月	
	●NPO京都環境アクションネットワーク野菜市での啓発活動	4月～翌3月	
	●産直コンテナ対応(発注・集荷・納品事務・配達)	4月～翌3月	
関 連 団 体 の	●有機農法推進協議会と共同での勉強会開催 有機農法推進協議会と共同で、野菜培養土づくりの第一人者である橋本力男氏をむかえ「培養土づくりと育苗について」「共同堆肥づくりについて」の勉強会を開催	平成21年10月27日	勉強会参加者 培養土づくりと育苗について 31名 共同堆肥づくりについて 25名